

人を育て、地域をつなぎ、未来につなぐ

【類型】 水稻(WCS) + もち麦 + ソバ + 露地野菜

【組織名】 農事組合法人庄毛ファームしょうげ（平成31年2月設立）

【所在】 高知県室戸市吉良川町

【構成戸数・人数】 14戸19人

【従事者数】 オペレーター 5人

【経営規模】

水稻(WCS)	180a
もち麦	20a
露地野菜	10a
ソバ	20a



設立総会

設立の経緯

- 平成25年ごろから庄毛の農地を何とか守りたいという吉良川町の有志が集まり、農地を守る方法の一つとして集落営農の勉強会や視察研修を重ね、平成27年7月27日に庄毛集落営農組合を設立（設立メンバー5人）。
- 農家の高齢化や耕作放棄地の増加を受け、平成30年6月に集落営農法人の設立準備会を立ち上げ、十数回に及ぶ準備会を開催して、集落ビジョン・規約等を策定し、平成31年2月27日に農事組合法人庄毛ファームを設立した。

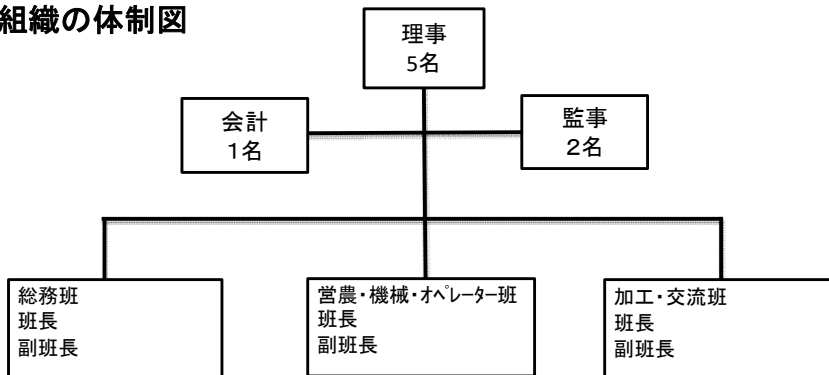
取組の特徴・効果

- 組合員の農地でもち麦の栽培を開始した。
- 水稻WCSの直播栽培に取り組み、収益向上を図っている。
- 地区の農地の集積に取り組んでいる。
- ソバの加工に取り組んでいる。

【具体的な取組内容】

栽培面積(平成31年産): 水稻WCS(180a), もち麦(20a), ソバ(20a)
露地野菜(10a)

組織の体制図



水稻WCSの生産

【主な機械・施設】

○機械類は個人のものを使用



ソバの生産と加工

【課題・今後の取組】

(課題)

○経営の安定化と担い手の確保

組合員の高齢化が懸念され、担い手の確保が課題

○農地の集積

庄毛地区は不整形で小面積のため、効率的な営農展開が困難



もち麦

(今後の取り組み)

○水稻WCS栽培の充実(栽培面積の拡大、専用品種の導入)と担い手の育成

○基盤整備事業の導入による農地の改良と集積の促進

○地元企業や福祉作業所との連携

作業性や収益性の良い品目の導入・定着(ニンジン、ショウガ) 等

○品目ごとに収支決算を行い、経営の強化を目指す